

「心の再生」と「いのちの森の防潮堤づくりを通して」
復興の礎をつくり出そう！



2900名の市民が参加し、2万本の苗木を植える！
3・29第2回「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」

福島県南相馬市は、東日本大震災の津波により、沿岸部は壊滅的な被害に遭い、636名の尊い命が奪われました。今回の植樹会場である原町区菅浜地区周辺では、187名が死亡・行方不明になりました。そのような状況から、平成25年度から津波被害に遭った家屋や、犠牲になられた方の魂が宿る、コンクリートガラや、土砂を再利用したマウンドに二万本のタブノキ・シラカシなどの16種類の苗木を植えてきました。そして、東京地本からは第二期復興サポーター、虹のかけ橋プロジェクトの幹事と共に参加し、全体で2900名が参加しました。

JR東労組は、この「いのちを守る森の防潮堤」を築いていくために、南相馬市に100万本の苗木を贈り届け、育てていきます。みんなで里親になり、育てていきましょう！